

## 市長施政方針

(はじめに)

昨年の我が国の経済は、いわゆる「アベノミクス」の推進により緩やかな回復基調にあるものの、消費税率引上げに伴う駆け込み需要の反動減などにより、年度前半の実質GDP成長率はマイナスとなりました。

しかしながら、今年1月に出された国の経済見通しによると、平成27年度は、雇用・所得環境の改善や堅調な内需に支えられた経済の好循環の進展が見込まれております。

また、昨年は、地方自治法の改正による「連携中枢都市制度」の創設や、「まち・ひと・しごと創生法」の成立など、将来の地方のあり方に関する大きな動きがありました。

国においては、生まれつつある「経済の好循環」を地方にも行き渡らせるとともに、元気で豊かな地方の創生を推進すべく、関連経費を盛り込んだ総額3兆円規模の補正予算並びに総額9.6兆円規模の当初予算案を編成しております。

また、県においても、来年度の県政運営の基本方針において、「地方創生」を大きな柱のひとつに掲げ、「新たな経済成長」や「人づくり」、「豊かな地域づくり」などを推進するとしております。

このように、国や県においては、経済の活性化や地方創生に向けた方向性が強く打ち出されているところであり、本市としても、今後、こうした動きに呼応しつつ、江田島市の元気づくりに向け、スピード感を持って、効果的な施策を着実に実施していくことが求められていると感じているところでございます。

(予算編成方針)

平成27年度予算は、合併・市制施行から11年目となる、新たな未来に踏み出す節目の予算であるとともに、「第2次江田島市総合計画」に基づいて編成する初めての予算となります。

来年度におきましては、引き続き、私の2期目のスローガンであります「交流・創造・実感」及び「行財政改革の着実な推進」を重点的なテーマとしつつ、これまで築いてきた成果をしっかりと活かすとともに、「第2次江田島市総合計画」において、将来像として掲げる「交流と協働で創り出す『恵み多き島』えたじま」の実現に向け、力強く踏み出してまいりたいと考えております。

それでは、まず、重点テーマであります「交流・創造・実感」についてでございます。

「交流」につきましては、外部人材を活用した地域活性化を図るべく、地域おこし協力隊の導入準備を行う「地域おこし協力隊派遣事業」や、本市への定住希望者に対し、えたじま暮らし体験の提供などを実施する「交流定住促進事業」、外国人市民の孤独化を防ぐべく、日本語サロンの開設支援などを実施する「外国人市民交流事業」等、新たな主体の活躍や協調を支える取組を盛り込んでおります。

また、交流人口の更なる拡大に向け、拠点施設へ無料Wi-Fiなどを整備し、観光情報の発信力強化を図る「魅力ある観光地づくり事業」や、アクティビティに適した江田島市の環境を全国にPRするため、アウトドアスポーツイベントである「江田島SEA TO SUMMITの開催」などを盛り込んでおります。

これらにより、市内外の人々の活発な交流を生み出し、江田島市の新たな活力づくりを進めてまいります。

次に、「創造」につきましては、江田島市の地域資源である農林水産物を活かし、6次産業化による新商品開発や販路拡大を推進するための「6次産業化総合支援事業」や、新たな特産品としてのオリーブの栽培の振興を図る「オリーブ振興推進補助事業」など、新たなチャレンジを推進する取組を盛り込んでおります。

また、安全・安心な教育環境を整備する「小学校耐震化等事業」や、児童に適切な遊びや生活の場を提供する「放課後児童クラブ事業」、子ども・子育て支援事業計画に基づき、子どものきめ細かな発育を支援するための「認定こども園おおがきの増築及び大規模改修に係る設計」など、次代を担う人材の育成に係る取組についても盛り込んでおります。

これらにより、地域の新たな価値の創出に向けたチャレンジや、それを支える人材づくりを進めてまいります。

さらに、「実感」につきましては、生活習慣病の原因となる歯周病を予防するため、節目の年齢に達した市民の歯科受診費用について支援する「節目年齢歯科健康診査事業」、災害対応能力を高めるため、情報の一元管理が可能な情報通信システムを導入する「災害情報管理システム事業」、交通事業者などによる公共交通の利便性の向上を図る取組を支援する「交通魅力アップ事業」など、安全・安心な暮らしを支えるとともに、生活環境の向上を図るための取組を盛り込んでおります。

これらにより、住みよさが実感できる江田島市づくりに向け、基盤の整備を進めてまいります。

続いて、「行財政改革の着実な推進」についてです。

これまでも、持続可能な基礎自治体として、スリムで効率的な行財政運営を確立するための取組を進めてきたところでございます。

しかしながら、歳入の根幹である市税は毎年減少し、地方交付税や国・県支出金などの依存財源に頼らざるを得ない財政構造となっていることから、引き続き、しっかりと財政健全化に取り組み、新たな総合計画に基づく挑戦に必要な経営資源を確保していく必要があります。

このため、市民の視点に立って、施策・事業の点検、検証、見直しを十分に行い、「第2次総合計画」、「第3次行財政改革大綱」並びに「第2次財政計画」を一体のものとして着実に推進し、取組の実効性を高めてまいります。

今回の予算は、限られた財源の中で、「選択と集中」を徹底しながらも、重点施策のテーマである「交流・創造・実感」に繋げることを目指した予算であります。また、「第2次江

田島市総合計画」に掲げる将来像の実現に向け、必要な取組を盛り込んだ初めての予算であることから、今回の予算は、『新たな未来に踏み出す予算』とすることができるのではないかと考えております。

#### (平成27年度当初予算の概要)

平成27年度の当初予算は、一般会計が前年度と比べ「6億6千7百万円」4.7%増の149億6千5百万円となりました。

また、特別会計は9会計で、前年度と比べ「7億6千万円」9.2%増の90億6千5百万円、企業会計は3会計で、前年度と比べ「5億4千9百万円」15.0%減の31億2千1百万円となりました。

企業会計を含む総予算規模は271億5千2百万円で、前年度比3.3%の増でございます。

一般会計の内容を歳入から見ますと、市税では、納税義務者数の減少や個人所得の低迷による個人市民税の減少、評価替えによる固定資産税の減少などにより、前年度に比べ9千4百万円の減(▲3.6%)、地方交付税は、合併特例加算の縮減や税収の減など考慮し、前年度に比べ3千万円の減(▲0.4%)を見込んでおります。

国庫支出金は、社会資本整備総合交付金や学校施設環境改善交付金の増加などにより1億8千4百万円の増(16.8%)、県支出金は、民生費県負担金や統計調査費委託金の増加などにより4千5百万円の増(5.0%)となっております。

市債は、庁舎整備事業、公共施設再編整備事業、小学校整備事業などの普通建設事業費の増加などにより、その他一般会計債が前年度に比べ6億1千3百万円の増(126.8%)となっております。

なお、歳入不足分については、前年度と同様、基金の取り崩しを行っており、今回の予算では財政調整基金から1億8千3百万円の取り崩しを見込んでおります。

一般会計におけるプライマリーバランスは黒字で、平成27年度末の市債残高は平成26年度末に比べ2億5千8百万円減少する見込みです。

歳出におきましては、義務的経費は、人件費は職員手当、共済費の増、統計調査員報酬の増などにより増加し、扶助費も増加しましたが、市債元利償還金の減により公債費が減少したことから、全体で5千1百万円の減(▲0.7%)となりました。

投資的経費については、小学校屋内運動場耐震補強及び大規模改修工事、道路維持・改良事業の実施に伴い、補助事業が4億2千3百万円の増(213.0%)、庁舎整備事業、公共施設再編整備事業の実施に伴い、単独事業が3億4千4百万円の増(40.3%)、港湾建設事業県負担金などの減少により県営事業負担金が1千8百万円の減(▲12.2%)で、全体で7億1千5百万円の増(55.7%)となっております。

補助費等については、下水道事業会計、交通船事業会計への繰出し(補助)の減少などにより、1億7千万円の減(▲8.0%)、繰出金については、国民健康保険特別会計や介護保険(保険事業勘定)特別会計への繰出しの増加などにより3千4百万円の増(3.2%)となっております。

## (主要施策)

それでは、平成27年度の主な事業について、第2次総合計画に掲げる施策体系ごとに、新規・拡充事業を中心に説明いたします。

### 1 「人が育ち、輝くまち」 ※教育・文化部門

- 安全・安心な教育環境を整備するため、江田島小学校の屋内運動場について、耐震補強及び大規模改修工事を実施いたします。  
(事業名：【拡充・継続】小学校耐震化等事業)
- 保護者が就労等により、昼間家庭にいない児童に適切な遊び及び生活の場を提供する「放課後児童クラブ」について、対象者を6年生まで拡大のうえ運営いたします。  
(事業名：【拡充】放課後児童健全育成事業)
- 社会的に大きな問題となっている、児童生徒のネットトラブルなどの撲滅に向けた対策を強化するため、講演会の開催や家庭に対する啓発などを実施いたします。  
(事業名：【拡充】家庭教育支援事業(ネットいじめ撲滅運動推進事業))

### 2 「元気な産業・観光を生み出すまち」 ※産業・観光部門

- 江田島市の地域資源である農林水産物に、新たな付加価値を生み出し、産業の活性化を図るため、6次産業化による新商品開発や販路拡大を推進いたします。  
(事業名：【新規】6次産業化総合支援事業)
- 観光情報の発信力強化を図るため、江田島市の玄関口である港の待合所に、携帯端末などで情報取得が可能となる無料Wi-Fiなどを整備いたします。  
(事業名：【新規】魅力ある観光地づくり事業)
- 市内産業の活性化及び光回線網の活用促進を図るため、市外からの転入企業や市内の新規起業者が、光回線網を利用するために必要な経費を支援いたします。  
(事業名：【新規】光回線加入促進事業)
- 荒廃農地を整備し、オリーブ栽培に取り組む者に対して、整地や土壌改良にかかる経費を補助し、新たな特産品としてのオリーブの栽培の振興を図ります。  
(事業名：【継続】オリーブ振興推進補助事業)
- アクティビティに適した江田島市の環境を全国にPRするため、アウトドアスポーツイベントである「江田島SEA TO SUMMIT」を開催いたします。  
(事業名：【継続】江田島SEA TO SUMMIT開催事業)

### 3 「健康で安心して暮らせるまち」 ※福祉・保健部門

- 生活習慣病の原因となる歯周病を予防し、高齢期の健康な暮らしを支えるため、節目の年齢に達した市民の歯科受診費用について支援いたします。  
(事業名：【新規】節目年齢歯科健康診査事業)
- 糖尿病ハイリスク対象者が重症化することを予防するため、プログラムに基づく個別指導を実施いたします。  
(事業名：【新規】重症化予防指導事業)

- 子ども・子育て支援事業計画に基づき、子どものきめ細かな発育を支援するため、認定こども園おおがきの増築及び大規模改修に係る設計を実施いたします。  
(事業名：【継続】認定こども園おおがき増築・大規模改修設計)

#### 4 「生活と環境を守り、高めるまち」 ※生活・環境部門

- 将来にわたる山林の多面的機能の維持発揮や、森林資源の保全を図るため、天然林の除間伐や下刈りを行うことなどにより、地域の景観に即した森づくり活動を展開いたします。また、水産資源の増殖や漁場環境の維持修復等を図るため、かき殻の除去や海底ゴミの回収を促進いたします。  
(事業名：【継続】ひろしまの森づくり事業)  
(事業名：【継続】水産業振興対策事業)
- 地球に優しい省エネルギー型社会の構築に向けて、住宅用太陽光発電システムの設置を支援し、普及を促進いたします。  
(事業名：【継続】住宅用太陽光発電システム等普及促進事業)

#### 5 「災害に強く、安心して暮らせるまち」 ※安全・安心部門

- 災害時の市民の安心を確保するため、災害対策本部において、情報の収集・共有・伝達が一元管理可能な情報通信システムを導入いたします。また、地域防災力の向上を図るため、自主防災組織などが行う防災活動を支援いたします。  
(事業名：【新規】災害情報管理システム事業)  
(事業名：【新規】地域防災活動等補助金事業)
- 防災拠点の現状を把握し、庁舎管理や今後の整備等の基礎資料とするため、消防本部庁舎の老朽化状況調査等を実施いたします。  
(事業名：【新規】消防庁舎老朽化状況等調査事業)
- 狭隘地区への救急サービスの提供及び救命率の向上を図るため、軽救急自動車の追加配備を実施いたします。  
(事業名：【拡充】軽救急自動車導入事業)

#### 6 「しっかりとした基盤を備えたまち」 ※基盤部門

- 将来の公共施設のあり方を見据え、ガイドライン等に基づいて、必要な庁舎の整備や、公共施設の再編整備を実施いたします。  
(事業名：【新規】庁舎整備事業)  
(事業名：【新規】公共施設再編整備事業)
- 持続可能な公共交通体系の構築のため、将来の江田島市の公共交通のあるべき姿や、それに必要な施策を整理するための計画を策定いたします。また、公共交通の魅力向上のために、交通事業者が行う、公共交通の利便性の向上や利用者の増加を図る取組などを支援いたします。  
(事業名：【新規】地域公共交通網形成計画の策定（市公共交通協議会負担金）)  
(事業名：【新規】交通魅力アップ事業)
- 通学路の安全確保の観点を踏まえた市道改良や、観光・交流人口の増加が期待できる「かきしま海道サイクリングロード」へのブルーラインの整備など、市民生活

や交流を支える基盤である市道の整備改良を促進いたします。

(事業名：【継続】道路維持管理事業)

(事業名：【継続】道路改良事業)

- 公共工事のスムーズな執行や、災害時など不測の事態に対応する能力を確保するため、新たな建設残土処分場の建設に向けた調査を実施いたします。

(事業名：【新規】建設残土処分場建設事業)

- 三高港について、利用実態や公共施設の再編整備計画との整合を図りつつ、今後の地域のあり方を検討いたします。

(事業名：【新規】三高港を中心とした周辺整備計画策定事業)

## 7 「地域が元気で、にぎやかなまち」 ※地域部門

- 外部人材を活用した地域の活性化を図るため、先進事例の調査や地域とのマッチングなど、地域おこし協力隊の活用に向けた準備を実施いたします。

(事業名：【新規】地域おこし協力隊派遣事業)

- 体験型修学旅行の受入を地域活性化に繋げるとともに、本市特産品のブランド化を図るため、土産物カタログを整備いたします。

(事業名：【新規】土産物カタログ作成事業)

- 外国人市民の言葉や心の壁を取り除き、孤独化を防ぐため、日本語サロンの開設支援などを実施いたします。

(事業名：【拡充】外国人市民交流事業)

- 市民参加型の協働のまちづくりを推進するため、意欲ある地域団体が提案する取組について支援いたします。

(事業名：【継続】まちづくり団体支援補助金(提案型事業))

- 持続可能な地域社会の構築に向け、えたじま暮らし体験の提供や住居取得の支援などにより、交流の拡大及び定住人口の確保を図ります。

(事業名：【継続】交流定住促進事業)

最後に企業会計についてでございます。

- 水道事業については、安全でおいしい水の安定供給に努めるとともに、老朽管更新事業を推進し、市民生活の向上に努めてまいります。

(事業名：水道事業)

- 下水道事業については、持続的・効率的な下水道整備と維持管理に努めるとともに、健全経営を目指してまいります。

(事業名：下水道事業)

- 交通船事業については、中町・高田／宇品航路の公設民営化への移行に向け、必要な手続を進めるとともに、移行までの間、効率的な経営を図りつつ、安全かつ適切な航路運航を行ってまいります。

(事業名：交通船事業)

このほか、東日本大震災の被災地支援につきましては、気仙沼市への職員派遣の継続に

引き続き取り組んでいくこととしております。

今回の新規、拡充事業の内容につきましては、事業ごとに資料を作成したものを最後に添付しております。

以上が、江田島市の平成27年度当初予算の概要でございます。  
慎重かつ十分にご審議をいただき、適切なる判断をお願いします。